

[科目名] 財 務 会 計 論 I				[単位数] 2単位	[科目区分] 専門科目 基幹科目(経営) 展開科目(経済・地域)		
[担当者] 金子輝雄		[オフィス・アワー] 時間: 研究室に表示 場所: 513			[授業の方法] 講義		
[科目の概要] <p style="text-align: center;">～なぜ? どうして? から簿記・会計を理解する!～</p> <p style="text-align: center;">2・3級の簿記検定は取り敢えず暗記すれば受かりますが、それでは使い物にはなりません。</p> <p style="text-align: center;">ましてや「会計がわからんで経営ができるか!」(稲盛和夫)</p> <p style="text-align: center;">会計は、マネジメントの基本であり、国や地域の経済発展を支えています。</p> <p>企業の資本を可視化して、その運動と増殖を記録を通して計算することが、簿記の役割です。簿記によって得られた数値は、マネジメントはもちろん、企業の株主・債権者・従業員・国などのステーク・ホルダーに提供(これを財務会計と言います)され、それぞれの意思決定に役立てられています。このような財務会計の社会性および会計が人間の行為(すべてをAIに置き換えることはできません。)であることから、そこには会計基準というルールが必要となります。国際財務報告基準(IFRS)が今日のグローバルスタンダードになっていますが、これを学ぶことも財務会計論の学修の目標になっています。IFRSでは株式投資に役立つ予測指向の会計が志向され、利潤の概念が実現ベースの「純利益」から発生ベースの「包括利益」に改められています。それはまた企業の簿記に影響を及ぼしています。</p>							
[[授業科目群]・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>会計学基礎論で学んだ内容を復習しながらより発展的な内容を学びます。その理解を前提として、財務分析、監査論、税務会計およびNPO会計等へと展開します。</li> <li>日商簿記3・2級の理解はもちろん、難関とされる1級、公認会計士試験の財務会計論(短答式・論文式)、税理士試験の財務諸表論、国税専門官採用試験の会計学の受験準備にも役立ちます。 *本学では3・2級の簿記講座しかありませんので、上を目指す人は必ず受講してください。</li> </ul>							
[科目の到達目標(最終目標・中間目標)]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>中間目標・企業会計の基本原則(財務会計の機能、簿記と財務諸表の関係、一般原則等)を理解すること。</li> <li>最終目標・中級程度の記録・計算をマスターし、それに係る財務会計理論を理解する。</li> </ul>							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○	
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]							
昨年度、特に意見・要望はありませんでした。							
[教科書] 八田進二・橋本尚著『財務会計の基本を学ぶ<最新版>』同文館出版 *財務会計論Ⅱでも同テキストを使用します。							
[指定図書] 桜井久勝著『財務会計講義(最新版)』中央経済社 ¥3,800(税抜き) * 会計士・税理士・簿記1級の必読書です。							

<p><b>【参考書】</b> 藤井・内藤・吉岡編著『フランス会計の歴史と制度 ー国際的統合化への道筋ー』白桃書房 2024年 他、適宜紹介します。演習問題としては市販のものを各自の目的とレベルに合わせて活用してください。</p>	
<p><b>【前提科目】</b> 「会計学基礎論」が理解できていることが望ましいです。</p>	
<p><b>【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等)</b></p> <p>① 確認テスト (45%) ② 期末テスト (45%) ③ 小テスト (10%)</p>	
<p><b>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】</b></p> <p>本学卒業生にも公認会計士・税理士・国税専門官になって活躍している人がいます。皆さんもチャレンジしませんか？</p>	
<p><b>【実務経歴】</b></p> <p>銀行業及び税理士事務所での実務経験</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 会計とは? 青い森鉄道の決算書を読む!  教科書・指定図書 本シラバスおよび 教科書 第1章 第1節</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 会計って何のためだれのため? 内 容: 制度として行われる会計について  教科書・指定図書 第1章 第2・3節</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):複式簿記の仕組みと財務諸表 やっぱ簿記だね! 内 容: 利益計算の仕組み お金を貸したのに借方に記入! Why?  教科書・指定図書 第2章 第1~4節</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務会計の基礎理論 会計が目指すもの 会計の大前提! 内 容: 概念フレームワークというもの 会計公準という決めごと  教科書・指定図書 第3章 第1・2節</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業会計原則 7つの原則! 継続性が命! 内 容: 一般原則について  教科書・指定図書 第3章 第4・5節</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):損益計算と資産評価 現金主義と発生主義の違いは? 内 容:発生主義会計の基本原則と資産評価  教科書・指定図書 第4章 第1~3節</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):現金と有価証券 株投資! ? 内 容:金融商品の会計  教科書・指定図書 第5章 第1~3節 (第4・5節は財務会計論Ⅱで扱います)</p>

第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中間テスト 内 容: 中間テストとその解説</p> <p>教科書・指定図書 プリントを用いる</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):商製品の計算 いろいろな払出単価の計算方法! 内 容: 棚卸資産の会計</p> <p>教科書・指定図書 第7章 第1～4節</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):固定資産の取引について 補助金・修繕と改良について 内 容:有形固定資産の会計</p> <p>教科書・指定図書 第8章 第1・2節</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):資産会計 減価償却の本当の意味! 内 容:減価償却の会計</p> <p>教科書・指定図書 第8章 第3節</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):資産会計 アウガはなぜ消滅したか? 内 容:減損会計、繰延資産</p> <p>教科書・指定図書 第8章 第4節</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):リース会計 借り物なのに資産になる? 内 容:リース取引の考え方と会計処理</p> <p>教科書・指定図書 第8章 第5節</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):資産会計 ブランド価値ってどう? 内 容:総合償却、無形資産・ソフトウェア・研究開発費の会計</p> <p>教科書・指定図書 第9章 第1～3節</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容: 補足説明と問題演習</p> <p>教科書・指定図書 プリント配布</p>
定期試験	